

公開用 研究内容

| | |
|-------|--|
| 研究課題名 | 肝細胞癌に対する経動脈的処置（検査・治療）における橈骨動脈カテーテルアプローチ法の手技習熟・効果・安全性に関する調査 |
| 研究の内容 | <p>【目的】</p> <p>肝細胞がんの診断・治療目的で行腹部血管造影検査において、最近私たちの施設ではカテーテルを手首の血管（橈骨動脈といいます）から挿入して行う方法を採用しています。これはその方が検査終了後のベッド上安静がなく、侵襲性が低いからです。当院においては2017年から行っていますが、今回、同様な手技を行なっている他の施設と共同して橈骨動脈からカテーテルを挿入して検査を行なった多くの患者さんで、手技の定着のし易さ、合併症の有無、患者さんの満足度などを調べます。</p> <p>【方法】</p> <p>●対象となる患者さん</p> <p>大垣市民病院および共同研究機関で肝細胞がんの診断を受け、橈骨動脈からカテーテルを挿入して腹部血管造影検査を行なった患者さん。</p> <p>●利用する検体、カルテ情報</p> <p>検体：なし</p> <p>カルテ情報：患者さんの年齢・性別や持病の有無、検査にかかった時間、検査・治療の成否、合併症の有無などの情報</p> <p>【提供方法】</p> <p>過去に橈骨動脈からカテーテルを挿入して血管造影検査を行なった患者さんのリストから、カルテから上記の情報を調べます。</p> <p>【利用範囲】 自施設</p> <p>【情報管理責任者】 豊田秀徳</p> <p>【拒否機会の保障】 研究対象者の求めに応じて、情報の提供を停止します。</p> |
| 対象疾患 | 肝細胞がん |
| 研究責任者 | 大垣市民病院・消化器内科 豊田秀徳 |
| 承認年月 | 2023年3月 |